

成長可能性都市佐世保 未来を拓け！

佐世保市は、多様性を受け入れる風土が評価され、2017年7月に(株)野村総合研究所が発表した「成長可能性都市ランキング」で全国10位にランクインしました。現在リーディングプロジェクトを展開しながら地方創生の実現を目指しています。

成長を目指す佐世保市の戦略



「8つのリーディングプロジェクト」

佐世保市は、成長への積極投資を実施し、西九州させぼ広域都市圏をけん引しています。

- クルーズ船入港体制整備
- 俵ヶ浦半島開発
- 名切地区再整備
- 基地との共存共生
- 特定複合観光施設（IR）誘致
- 企業立地・新工業団地整備
- 英語が話せる街 佐世保
- 九十九島・世界文化遺産・日本遺産の活用

「技術職員が関わるプロジェクト」

技術職員はリーディングプロジェクトをはじめ、市の成長や市民の安全、暮らしを支える基盤づくりを担っています。これまで、クルーズ船が入る港湾の新たな整備や新工業団地整備などを進め、活用の段階に入ったほか、現在も俵ヶ浦半島開発、名切地区再整備、IR誘致などに挑戦し続けており、構想段階から施設整備、維持管理を含めて技術職員が多くのプロジェクトに関わっています。佐世保市は、未来を切り拓く仲間・技術職員を募集しています！



（主な配属先）

- 土木部
 - 都市整備部
 - 農林水産部
 - 港湾部
 - 水道局
- このほか、企画部、財務部、企業立地推進局、教育委員会など様々な職場に配属されます。

未来へ！

住みやすい街 佐世保 安心の人生設計

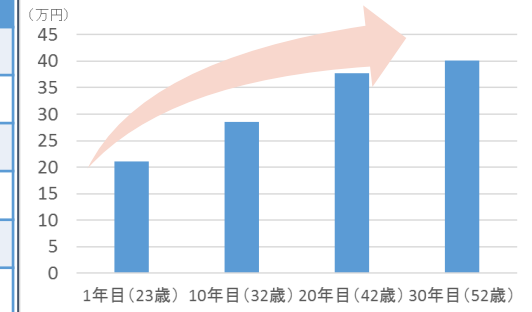
「採用条件」

給料：大学卒初任給基準月額 182,200円（令和2年4月1日現在）

※給料のほか、住居手当、通勤手当、扶養手当、期末・勤勉手当等を本市給与条例及び規則に基づき支給します。（時間外勤務をした場合は、別途時間外手当が加算されます。）

種類	金額	内容
給料（1年目）	182,200円	基本給
期末勤勉手当	801,680円	基本給×4.5月
住居手当	28,000円	借家の場合、最大値
通勤手当	4,200円	車通勤（5～10km）の場合
扶養手当	6,500円	配偶者
	10,000円	子

経験に応じて月収が上がります



「気になる年収！モデルケース」 配偶者あり、子2人の場合（※表の家族数は扶養家族）

	金額	内容
1年目（23歳）	3,392,700円	配偶者なし
5年目（27歳）	3,924,450円	配偶者あり
10年目（32歳）	4,582,500円	配偶者+子2人、家を購入
20年目（42歳）	6,088,950円	配偶者+子2人、1人目の子が中学校へ入学
30年目（52歳）	6,529,950円	配偶者+子1人（1人目の子が扶養対象から外れる）

「民間等との比較」 平成30年賃金構造基本統計調査より（100人以上の事業所で正規職員のみ）

	平均年収	内容
全国	5,374,000円	年齢41.2歳、勤続年数13.8年
全国（男性）	5,867,000円	年齢42.0歳、勤続年数15.1年
全国（女性）	4,267,000円	年齢39.2歳、勤続年数10.9年
建設業	6,313,000円	年齢41.5歳、勤続年数15.5年
長崎県	4,250,000円	年齢42.8歳、勤続年数12.8年
福岡県	4,604,000円	年齢42.7歳、勤続年数12.0年

採用担当：佐世保市総務部職員課

TEL：0956-24-1111（市役所代表番号）

URL：http://www.city.sasebo.lg.jp/shise/saiyo/index.html



佐世保で まちづくりのプロフェッショナルになろう！

学生の皆さんへ

民間では個別専門分野の仕事を行うこととなりますが、自治体職員、特に基礎自治体(市町村)の職員は、事業の**構想・計画・整備・管理・運営・維持・補修**と施設のライフサイクル全般に関わる一連の業務を担うことができるということが大きな特徴です。また、**市民の方に直接かかわる**ということも仕事の醍醐味の一つです。国や県と一緒に取り組むこと、あるいは、独自の工夫によって国の制度が変わっていくこともあります。地域を直接支えて活躍できる、市役所の職員になりませんか？

※業務内容及び職員の経歴は2018年当時のものです。

Mission 1 成長都市のための道路を創る！ (土木部)

《前畑崎辺道路整備事業(H29年～R5(予定))》

佐世保市の道路情勢としては、西九州自動車道「松浦佐々道路」の延伸や、「佐々IC～佐世保大塔IC」の四車線化、主要県道のバイパス整備など、交流・物流を支える広域ネットワークの構築が目白押しです。また、基地の街という特性から、防衛関係車両による市民の日常生活への影響緩和を図るため、防衛省からの補助金を活用し、崎辺地区に通じる新たな補助幹線道路などを事業主体となって整備しています。

	H28	H29	H30	H31	R2～R5
設計・調査	[進捗バー]				
用地取得	[進捗バー]				
工事	[進捗バー]				



私が担当しました！

土木部土木政策・管理課
志方 宏敏 (43)

鹿児島大学大学院 理工学研究科
海洋土木工学専攻修了(長崎県出身)



これまでの経験

農業土木、下水道の分野の職場を経て、土木部5年目を迎えています。

仕事の内容

基地施設がある地域と市内中心部を結ぶ、新しい道路の計画ルートの設計業務を担当しました。基地との共存共生の観点から、防衛省からの支援を受ける調整を図りつつ、道路計画地域の測量業務や地質調査業務を行い、総合的な知見から道路の中心位置を決める計画ルートを決定しました。

仕事の醍醐味

ルート上にある学校施設や都市公園施設及び基地施設等を回避し、より経済的目付効果的な道路を造る検討に時間をかけました。防衛省や、建設コンサルタント、市民の方といった様々な関係者との繋がり・対話があり、地方自治体の最前線の技術者として、とても充実した仕事ことができました。

本事業は、まだ現在進行形です。皆さん、このような道路を造る仕事に、携わってみませんか？

Mission 3 成熟都市のための仕組みを創る！ (都市整備部)

《佐世保市都市計画マスタープラン策定

・将来都市構造実現化業務(H23年～進行中)》

都市計画マスタープランは、佐世保市の将来像とその実現に向けた土地利用や都市整備に関する方針を示す重要な計画です。この計画を基に各種都市計画の見直しや、市民と協働によるまちづくりを推進しています。地域の誇りとなる景観を守る取組や空き家を活用した移住者受入の取組など、地域の皆さんとともに実施しています。

	～H23年	H23年～	H25年～	H30年～
マスタープランの策定	[進捗バー]			
都市計画の推進		[進捗バー]		
マスタープランの検証・見直し			[進捗バー]	[進捗バー]



写真：まちづくりワークショップの様子

私が担当しました！

都市整備部都市政策課
宮崎 大 (34)

九州大学大学院 工学府
都市環境システム工学専攻修了(福岡県出身)



これまでの経験

市役所に入庁して7年間、都市政策課に所属。昨年度技術士(建設部門)の資格を取得し、都市計画の専門家として業務を行っています。

仕事の内容

業務では、市民の皆さんとの連携・協働を積極的に行い、住民参加型のワークショップ手法による計画策定や協働事業を実施してきました。

仕事の醍醐味

地方公務員は、計画、設計から施工、管理、運営までまちづくりの全てに携われると同時に、住民に一番近い立場として、一緒にまちづくりを進めていくことができます。

中でも都市計画マスタープランは都市整備の方向性を定める重要な計画。将来の人口減少・少子高齢化に対し、いかにコンパクトなまちをつくるかという視点で、検証・見直しに取り組んでいます。

趣味は登山やキャンプ。市役所山岳部に所属し、まとまった休日は山に出かけています。

Mission 2 成長都市のための港を創る！ (港湾部)

《三浦地区みなとまちづくり計画(S60年～進行中)》

佐世保駅周辺再開発事業の一部として、駅のみなと側を一変させたプロジェクトであり、水辺の空間を活かした大規模商業施設(させぼ五番街)の誘致や海外からのクルーズ船が接岸する岸壁整備を実施中！岸壁完成後、佐世保港へのクルーズ船寄港回数は増加しており、昨年は、全国9位の84回と過去最高を記録し、今後の整備により年間300回以上に拡大する見込みです！

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
五番街	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
三浦岸壁	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]	[進捗バー]
(浦頭)						[進捗バー]	[進捗バー]



私が担当しました！

港湾部みなと整備課
日高公大(37)

長崎大学大学院 生産科学研究科
環境システム工学専攻修了(宮崎県出身)



これまでの経験

土木部で佐世保市道の維持工事を経験したあと、港湾部で佐世保港の整備計画を担当しています。

仕事の内容

三浦岸壁の整備を進めるため、需要予測や、国の政策に基づいた日本海側港湾の機能別拠点化に向けた計画づくり、国からの財政支援を得るための予算要求を担当しました。その後、さらなる需要増加に対応するため、三浦岸壁の延伸工事を進めているほか、浦頭地区で、国・クルーズ船社・市の連携事業という国内初の試みで、新たな施設整備に着手しています。

仕事の醍醐味

佐世保市が港湾管理者(他港の管理者は県)となっており、国土交通省と直接調整をしつつ、みなとと一体となったまちづくりを進めることができます。

佐世保市は、様々な場所から人が集まったまちで、他県出身の私もすぐに受け入れていただけました。常にチャレンジしながら仕事をしています！

Mission 4 市民の安全・安心を支える！ (都市整備部)

《斜面密集市街地対策事業》

佐世保市は、海と山に囲まれており平地が少ないため、斜面地に住宅地が広がっています。斜面密集住宅地では、道が狭く緊急車両が通れない、空き家の増加といった課題を抱えており、地元と協働しながら、道路整備を行うことで、防災性の向上と住宅建替促進を図っています。



私が担当しました！

都市整備部まち整備課
林田真季 (34)

長崎大学工学部社会開発工学科卒
(長崎県出身)



これまでの経験

入庁して12年目を迎え、これまで土木管理、都市計画など多岐にわたる業務を担当しました。

仕事の醍醐味

現在4路線の道路整備を進めているうち、1路線の完成前1年に携わりました。長期間に渡る整備で、先輩方の思いを引き継ぎながら完成を迎えました。今回の業務では、市で施設を整備するハード面と、地元で取り組めるソフト面の連携で、よりよいまちづくりができると感じました。これからも地元と一緒にまちづくりを考えていきます。

女性受験者へひとこと

女性にとっては、休暇制度等が充実しており、周りの女性職員の人を見て育児と仕事が両立できる職場です。他職種の女性職員同士で交流する機会もたくさんあります。

オフタイムは、パン作りなど自分の好きな趣味の時間を満喫しています。市役所で出会った友達とドライブにも行ったりしています。